

乳腺超音波検査（オプション検査）をおすすめします！

このお知らせは当院マンモグラフィにて**高濃度乳腺**と判定された方にお渡ししております。

乳腺超音波検査とは

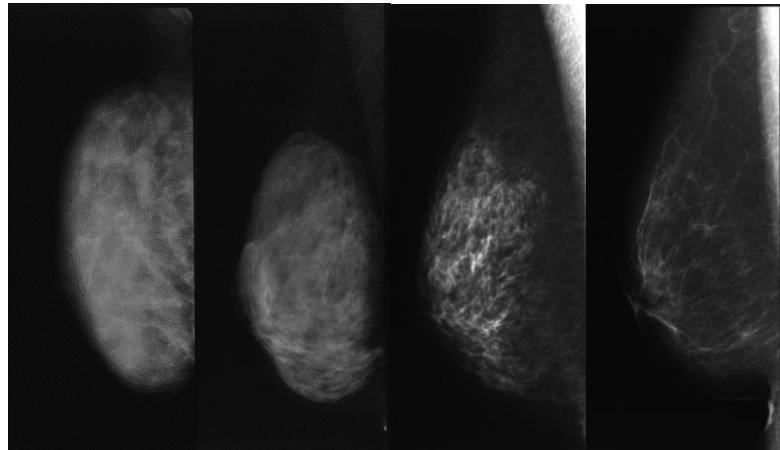
- 乳房に超音波をあて、はね返ってくる反射波を画像化した検査です。
- 乳房の内部の構造を観察しながら、触診では検出できない小さな病変を見つけることができます。
- 痛みはなく、X線を使わないので、何度でも検査を受けられ、妊娠中でも検査が可能です。



picta.jp - 19932963

どうして 超音波検査が必要なのです？

- マンモグラフィは乳腺組織が占める割合によって4種類に分類されます。（写真①～④）
- 乳腺は年齢とともに脂肪に置き換わっていくため、個人差はありますが、①と②の乳腺は20代から40代の方に多くみられます。



①:高濃度 ②:不均一高濃度 ③:乳腺散在 ④:脂肪性

乳腺の量

多

少

- マンモグラフィでは病変は白く映ります。写真①、②は乳房が白く映ってしまい、異常があっても見つかりにくいという弱点があります。
- 超音波検査は乳腺密度に関係なく画像が得られます。①、②タイプの乳房の方は超音波検査の併用でマンモグラフィの弱点をカバーできます。